

# JACIC news

2023  
10月号/No.412

JACIC 一般財団法人日本建設情報総合センター

## JACIC からのお知らせ

### JACICセミナーの開催案内

JACICでは、「インフラ分野のDXを支える調査研究と実践の推進」、「建設事業の高度化を支えるJACIC提供サービスの品質の向上」を重点事項として事業に取り組んでいます。

この度、以下の4部構成で、JACICセミナーを開催する運びとなりました。

今年度の特別講演では、国土交通省大臣官房参事官（イノベーション）森下博之様よりご講演いただきます。

本年度は、2年ぶりに会場での開催とWebのハイブリッ

ドセミナーとなります。JACICホームページ（<https://www.jacic.or.jp/>）よりお申込みをお願いします。

○日時：令和5年11月8日（水）10：00～17：00

○会場：TKP赤坂カンファレンスセンター  
Webによる配信

○定員：会場受講150名、Web受講300名

○継続教育CPDポイント対象プログラムです。

- ・土木学会（建設系CPD協議会）
- ・日本測量協会（測量系CPD協議会）

#### 【第1部】建設情報研究所研究発表会（10：00～12：00）

発表者	発表テーマ
理事 野田 勝	DX時代の新たなマネジメント
ソリューション部門 計画監理部 主事 西内 翔太郎	JACIC ルームの機能と利用事例
ソリューション部門 事業推進部 主事 金子 大輝／主事 黒滝 まど佳	JACIC ルームを活用したダム事業監理について
ソリューション部門 BIM/CIM 普及・推進室 主事 岡田 直規	発注者 BIM/CIM 研修について
建設情報研究所 研究開発部 技師 山本 莉子	研究助成について
システム事業部門 システムエンジニアリング部 副参事 遠藤 卓也	電子入札コアシステムにおける最近の取り組み
システム事業部門 積算システムセンター 主事 磯田 聖太	JACIC 土木積算基準データの提供について
システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター 主事 河野 加歩	コリンズ・テクリス 機器更新（リプレース）と機能改良
システム事業部門 建設副産物情報センター 主事 徳丸 柊生	副産物システムの最近の取り組みと新サービスの概要

#### 【第2部】特別講演（13：00～13：30）

発表者	講演テーマ
国土交通省大臣官房参事官（イノベーション） 森下 博之	【特別講演】 国土交通省におけるインフラ分野のDX

## 【第3部】 社会基盤情報標準化委員会成果報告会（13：35～14：10）

発表者	発表テーマ
建設情報研究所 副所長 明野 和彦	社会基盤情報標準化委員会について
株式会社パスコ（スマートインフラセンサモニタリングデータにおけるメタデータ標準化検討小委員会 小委員長） 五十嵐 善一	インフラ構造物におけるセンサデータおよびモニタリングメタデータの標準化に向けて
一般社団法人 building SMART Japan（BIM/CIMにおける情報エコシステム標準化検討小委員会 小委員長） 山本 賢司	BIM/CIMの情報管理に関する国際標準 ISO19650 普及に向けた提言

## 【第4部】 第21回 JACIC研究助成事業成果報告会（14：25～17：00）

発表者	発表テーマ
早稲田大学理工学術院 創造理工学部 教授 秋山 充良	【2年間の研究】 ドローン・機械学習・3次元構造解析・信頼性理論の融合による劣化 RC 橋梁の健全度の自動判定
大阪大学大学院 工学研究科 准教授 貝戸 清之	【中間報告】 3次元点群データの活用による斜面・法面管理の効率化・高度化
香川大学 地域強靱化研究センター 特命准教授 磯打 千雅子	【1年間の研究】 防災 DX に向けた災害教訓のマルチレイヤー化に関する研究
東京電機大学 総合研究所 教授 小林 亘	【1年間の研究】 冠水センサと機械学習を用いた道路冠水予測システムの開発
香川高等専門学校 建設環境工学科 准教授 林 和彦	【1年間の研究】 3次元モデルとメタバースを活用したインフラメンテナンス技術に関する教育手法の構築
東京理科大学 土木工学科 教授 寺部 慎太郎	【1年間の研究】 若年層の市民参加促進のためのインターネットを活用した意見提出喚起手法
名古屋工業大学大学院 工学研究科 助教 日高 菜緒	【1年間の研究】 点群データを活用した鋼製橋脚の FEM モデル自動構築および解析結果の検証
東京大学 未来ビジョン研究センター 特任講師 紀 佳淵	【1年間の研究】 下水処理施設における機械学習の利活用に関する予測手法の開発

※発表内容は変更になる場合があります。

（経営企画部 参事 栗原元宏）

## JACIC からのお知らせ

## 令和5年度(一財)日本建設情報総合センター研究助成決定

一般財団法人日本建設情報総合センター（JACIC）では、建設分野における学術の振興を目的として、情報・システムを活用した調査研究を対象に、平成10年度からこれまで累計230件、総額約5.6億円の研究に助成を実施しております。

令和5年度は、3月13日より公募を開始し、関係学会等にも幅広くご案内したところ、期限の6月30日までに11件の応募がありました。8月2日に、学識経験者を含めた委員による審査委員会を開催し、厳正な審査の結果、9件に対し研究助成を実施することを決定しました。

研究の対象課題については、今年度も7つのテーマを設定しました。特に応募が多かったのは、「ICT等に関する技術（AI、5G/IoT、XR（VR、AR、MR、SR）、センシング技術、画像処理技術等）の建設分野における活用に関する調査研究」と「3次元モデルや3次元データの活用による建設生産性向上、維持管理の効率化・高度化に関する研究」でした。応募者の所属については、11件すべてが大学等の教育機関でした。

また、若手の研究者による今後の研究の発展・充実を期待して、平成29年度から若手研究者枠（35歳以下）を設けており、今年度も2件を採択しております。

採択された研究については、JACICが主催する成果報告会だけでなく、国内外を問わず広く学会等において成果を発信し、あわせて学術論文として投稿することで、建設情報システムの発展に大いに寄与することを期待します。

## 【審査委員会の委員】

大橋 正和（中央大学名誉教授）

島崎 敏一（日本大学名誉教授）

月尾 嘉男（東京大学名誉教授）

山田 邦博（理事長）

伊藤 英隆（理事）

野田 勝（理事）

三橋 さゆり（審議役）

期間・金額	研究助成対象者（敬称略）	研究テーマ
2年間 600万円以内	静岡理工科大学理工学部 土木工学科 教授 中澤 博志	城郭石垣の維持や施工管理における新たな計測機器の開発
1年間 300万円以内	立命館大学理工学部 准教授 福山 智子	建設用3Dプリンタ造形物における異方性を考慮した最適化設計ワークフローの構築と検証
	山口大学大学院創成科学研究科環境共生系専攻 准教授 渡邊 学歩	地域企業の建設DX推進人材育成のためのリスクリング教育実践に関する調査・研究
1年間 100万円以内	東京電機大学理工学部 建築・都市環境学系 教授 中井 正則	河道内流木群の流下過程を予測する機械学習モデルの構築と治水計画への活用
	高知大学自然科学系理工学部 講師 坂本 淳	先進的ICT技術を援用した災害復旧プロセスの検討
	高知工業高等専門学校ソーシャルデザイン工学科 准教授 池田 雄一	免震建物に設置されているけがき式変位計による地震観測の経時特性を補完計測する加速度センサーマイコンボード（IoT装置）の開発とその実装
	産業技術短期大学情報処理工学科 講師 櫻井 健一	ボーリングデータを用いた3次元可視化および地層対比システムの構築
1年間 100万円以内	愛知学院大学総合政策学部 専任講師 二神 拓也	深層学習を用いた建造物領域抽出の改良
	名古屋大学大学院工学研究科 助教 周 月霞	航空レーザ測量データ（ALB）を活用した河道内樹木の解析

（建設情報研究所研究開発部 技師 山本莉子）

地方便利

# 中部地方センターの活動

## ■はじめに

中部地方センターは、静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、長野県南信地域を担当し、「総合的な建設情報の提供」と「建設プロセスに関する情報の利活用促進」を通して、インフラ分野の支援を行っています。今回は、前回2023年2月（JACIC news No.405）以降の活動を報告します。



ディング」と題し、ダムカードの企画、効果、苦労話などを通してわかりやすく講義を行いました。当日は25名（4年次）が講義を受け、「受け手（ターゲット）にどれだけ興味を持ってもらえるかが重要だと感じた」「伝えたいメッセージを絞り込むことが重要と感じた」など多くの感想が送られてきました。



### ダムカードの広がり(1)

- 当初1年ぐらいはマニアを中心に浸透
- ダムカード収集サイトが出現
- バイク乗りのツーリング目的として広がる(他の趣味を安機にマニア以外に浸透)
- ヤフオクにも出始める
  - 国交省の作ったモノが売れるという興味喚起
  - 需要はあると確信

※アンケートの集計はありませんが、3名の感想です

### インフラブランディングとは？

広報戦略	地域振興
説明責任	ツーリズム
人材育成	社会貢献
官民連携	

### ダムカードの広がり(2)

- 最初の雑誌取材は「ラジオライフ」(2007)
- 最初のテレビ登場は「NHK-B5熱中夜話」(2008)
  - ダムカード12枚が貼られたパネルが登場
  - インフラマニアの一つとして世の中に認知
- このころから取材が増えてくる



※アンケートの集計はありませんが、3名の感想です



## ■中部ブロックコアシステムユーザ会議

6月23日に15団体23名出席（Web含む）のもと、ユーザ会議を開催しました。事務局から特に会員の関心が高いコアシステムに関連する政府等の動向・関連技術の動向などの情報提供、会員の皆様からいただいた質問に対する回答し、会員相互の情報交換が活発に行なわれました。

今年度は、下半期に3校（豊田高専、岐阜高専、名古屋工業大学）で開催を予定しています。

## ■賛助会員の皆様との意見交換会

今年度は10月19日、愛知県の賛助会員皆様と「総合的な建設情報に関するJACICの最新の取り組み」「インフラ分野のDXの推進、およびBIM/CIM原則適用化の関する取り組み状況、課題と対応」を主題に意見交換会を行います。

## ■建設副産物・建設発生土対策部会

6月29日開催された「中部地方建設副産物対策部会・公共工事建設発生土対策部会」に対して資料提供等を行い、建設副産物情報センターとともに参加しました。



## ■建設技術フェア2023in中部

今年度はポートメッセなごやにおいて12月6日（水）・7日（木）の開催予定です。「DX時代の新たなマネジメント」と題し、様々なインフラプロジェクトの実施段階や維持管理局面において、最新のIT技術を使いこなし、イノベーションと働き方改革を成し遂げるために必要な「新しいマネジメント」についてプレゼンテーションを行い、特にJACICが提供している「JACICルーム」を紹介します。

（中部地方センター長 今井浩策）

## ■教育機関における講義

本講義は、平成28年度より始めています。7月19日に名城大学で審議役が非常勤講師として「インフラブラン

## ■編集・発行 一般財団法人日本建設情報総合センター

〒107-6114 東京都港区赤坂5丁目2番20号 赤坂パークビル14階  
 TEL. (03)3505-2981(代表) FAX. (03)3505-0414  
 ご意見・お問い合わせ先: <https://www.jacic.or.jp/about/syozai/syozai.html>  
 JACICホームページ <https://www.jacic.or.jp/>



編集・構成 日本印刷(株)  
 TEL. (03)5911-8660